



まちびとインタビュー
議会にあなたの声を

霞ヶ浦高等学校

放課後議員カフェ

令和7年10月4日、霞ヶ浦高等学校で「放課後議員カフェ」を開催しました。生徒会の皆さんと議員が、リラックスした雰囲気の中で、将来の希望や地域の未来について意見交換を行いました。

※13ページ「広聴広報特別委員会」参照

2ページ

審議結果

12の議案等を承認・可決・同意・採択

6ページ

一般質問

9人の議員、町政を問う

11ページ

委員会活動

常任委員会で先進地を視察・研修

14ページ

議会活動

議員研修会・議会報告会を開催

20ページ

まちびとインタビュー

議会にあなたの声を



色がついている議案は、質疑または討論を掲載している議案です。

令和7年第4回定例会

令和7年12月2日(初日) ~ 12月16日(最終日)

初日 最終日

■ 全議員が賛成した議案等

<p>阿見町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について ※1 P4参照</p> <p>子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、児童福祉法の一部が改正され、令和8年4月から全国の自治体で実施される乳児等通園支援事業に関する規定が新設されたことに伴い、当該事業の設備及び運営の基準について、国が定める基準を踏まえ、新たに条例を制定するもの</p>
<p>あみ子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について</p> <p>法律又は法律に基づく政令に特別の定めのない公の施設である「(仮称)子育て支援総合センター」について、地方自治法第244条の2の規定に基づき、その設置及び管理に必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するもの</p>
<p>阿見町議会議員及び阿見町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について ※2 P3参照</p> <p>公職選挙法施行令の一部改正に伴い、当該政令の規定に準じ、選挙運動用ビラ作成の公費負担基準額の引き上げを行うため、所要の改正を行うもの</p>
<p>令和7年度阿見町一般会計補正予算(第4号) ※3 P3・4参照</p> <p>6032万7千円減額 【主な歳入】社会資本整備総合交付金の減。道路舗装修繕事業債の減 【主な歳出】防災行政無線放送施設設備工事(Jアラート受信機及び自動起動装置更新)、障害者訓練等給付費、産後ケア事業委託料の増。道路工事、元利償還金の減</p>
<p>令和7年度阿見町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)</p> <p>31万1千円増額(職員給与関係経費の増)</p>
<p>令和7年度阿見町介護保険特別会計補正予算(第2号)</p> <p>2194万6千円増額(通所型サービス事業に係る経費の増)</p>
<p>令和7年度阿見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)</p> <p>307万2千円減額(広域連合納付金の保健基盤安定納付金の減)</p>
<p>令和7年度阿見町水道事業会計補正予算(第2号)</p> <p>収益的支出を10万6千円減額(職員給与関係経費の減)</p>
<p>令和7年度阿見町下水道事業会計補正予算(第2号)</p> <p>収益的収支を160万8千円減額(職員給与関係経費の減とそれに伴う他会計補助金の減)</p>

<p>財産の取得について((仮称)阿見町子育て支援総合センター一般什器備品購入)</p> <p>「(仮称)子育て支援総合センター」の整備に伴い、一般什器備品を購入するもの</p>
<p>土地の取得について ※4 P5参照</p> <p>都市計画道路本郷・中根線の事業用地を取得するもの</p>
<p>あみ子育て支援センターの指定管理者の指定について</p> <p>あみ子育て支援センターにおいて、子育てを一元的に支援するとともに、子育て世帯の交流の場を設けることに伴い、民間事業者等有する専門的知識や経営能力を活用し、サービスの向上を図るため、指定管理者の指定を行うもの</p>

■ 賛否が分かれた議案等

今定例会ではありませんでした。

令和7年第4回定例会 総務常任委員会 ※2

阿見町議会議員及び阿見町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

問 来年予定されている町長選挙・議会議員選挙での増額想定額はどれぐらいか。

答 町長選候補者は上限5000枚で差額3250円の増、議員候補者は上限1600枚で差額1040円の増となる。

問 今回の改正はビラの作成単価のみだが、今後他の公費負担の項目についても見直す考えはあるか。

答 公費負担は国の基準額に準じて定めることとしている。今回はビラの改正が生じたが、その他は変更がないため、国の基準額が改正になった際に合わせて改正する方向で考えている。

問 改正された背景はどのようなものか。

答 物価の変動に伴い公職選挙法施行令が改正され、選挙に関わる単価が引き上げられた。町ではビラの部分が該当するため改正を行う。

令和7年第4回定例会 総務常任委員会 ※3

令和7年度阿見町一般会計補正予算(第4号)

問 債務負担行為の市制施行プロモーション業務委託料について、具体的な内容と債務負担行為としての必要性は。

答 令和9年11月1日に向けた機運醸成や式典等の総合的な企画運営である。年明けにプロポーザルによる業者選定を予定しており、早期に準備に着手する必要があるため債務負担行為を設定した。

問 公用車維持管理費のテレビ受信料196万5000円は、公用車何台分で、いつからいつまでの期間か。

答 管財課所管の19台分である。期間については、対象車両の登録時期が平成25年1月から令和7年2月までのものが該当する。

問 防災管理費の防災行政無線放送施設整備工事748万円の詳細な内容は。

答 Jアラートの更新に伴い、県の防災情報システムと分離してアンテナを設置する必要があるため計上した。受信機の更新についても通知に基づき今回の補正で対応する。



市制施行推進ロゴ入りあみっぺ

阿見町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

問 月当たりの利用時間は決まっているのか。もっと通園したいとなった時の対応は。

答 令和8年度が制度初年度となることや、町内の保育の受け入れ状況を勘案し、利用時間については、まずは月一定時間の利用可能枠内の中で通園していただく。

問 利用料金はどうなっているのか。

答 利用料については、今年度は標準として1時間あたり300円。令和8年度以降の利用料の在り方については、まだ国から示されていない。



出典：「子ども誰でも通園制度リーフレット」(こども家庭庁)

令和7年度一般会計補正予算(第4号)について

問 産後ケア事業委託料の増額補正の要因は何か。

答 令和7年度から利用者負担額の減免を開始し、産後ケアの利用者が急増したことが理由。利用施設が5か所から9か所に受け皿を増やしたことで、10月末時点で前年度の約2倍という、当初予算の想定をはるかに上回る利用があり今回また799万5000円の増額をした。

問 障害者訓練等給付費の6098万5000円の増額補正の要因は何か。

答 障害者訓練等給付には8つの給付事業があり、前年度の同時期と比較して、ほぼ全体的に増加している。実際の実利用者数も、前年の同時期と比べて、約260名増加している事により補正を行った。



出典：「産後ケア事業」(こども家庭庁)

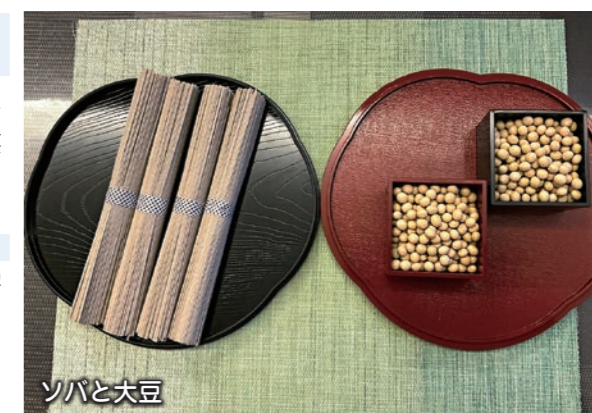
令和7年度阿見町一般会計補正予算(第4号)

問 農業振興推進事業の儲かる産地支援事業補助金、367万8000円の増額理由は何か。

答 ソバと大豆の輪作に向けた営農をするため、必要な普通型コンバインと粗選機、大豆用の網などの事業費に対し、県の補助率3分の1を申請する。

問 増額によって見込まれる具体的な効果は何か。

答 土壌中の有機物が循環促進され、地力の向上と病害虫の抑制が図れ、ソバの安定生産と品質の向上、さらには新たに大豆が、阿見町の畑作物の品目として産地化に寄与することが大きく期待される。



ソバと大豆

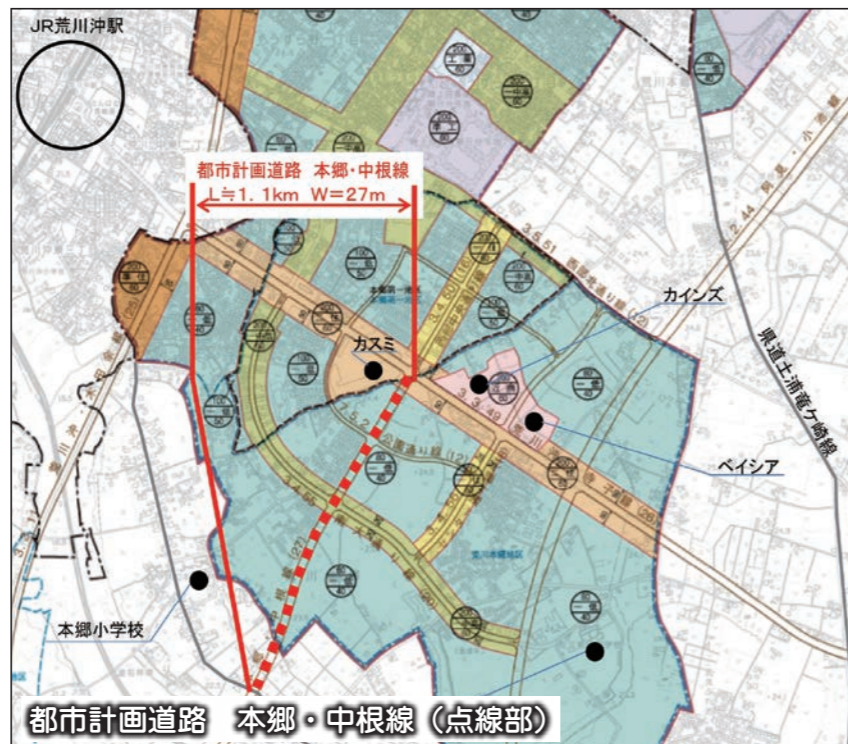
土地の取得について

問 土地開発公社の活用は今回検討しなかったのか。

答 今回の本郷・中根線は、社会資本整備交付金の中の防災安全交付金を活用しているため、今のところ土地開発公社の利用は考えていない。

問 土地の取得によって残地が出てくると思うが、この残地をこの後どのようにするのか。

答 本郷・中根線の整備は、市街化区域と市街化調整区域に分かれる。市街化区域は、残ったとしても売れるが、基本的に残地がないように買取をする。市街化調整区域で残る場合は、隣接の方に買取してもらうなど残地を残さないように整備をする。



都市計画道路 本郷・中根線(点線部)

傍聴がしやすくなりました

阿見町議会傍聴規則が改正され、古かったりあいまいだった内容が現在の社会情勢に合わせたものになりました。

● 小さなお子さんと一緒に傍聴することができます。(泣いてしまったり騒いでしまったりするときは、一時退席をお願いする場合がございます)

● 携帯電話やスマートフォンの電源を切らなくても大丈夫です。(音が鳴らないように設定してください)

● 車いすを使用する方は、傍聴席までの階段が急で危ないので、議場入口で傍聴ができます。(準備のため、あらかじめ議会事務局職員にお申し出ください)

傍聴の際は、傍聴人受付票に住所・氏名をご記入いただきますので、阿見町役場3階の議会事務局にお越しください。

武井浩議員



物価高対策について



南海トラフなどの 大地震対策について

問 巨大地震に伴う火災が発生したときの対策として、耐震性防火水槽の設置や感震ブレイカーの設置支援が必要ではないか。

答 民間事業者の開発行為に合わせ、防火水槽の設置を依頼し、耐震性防火水槽の増加を図る。感震ブレイカーの設置については、町民、他市町村の動向を注視し、検討していく。



▲ 防災訓練の様子

結婚支援・ 子育て支援について

問 結婚支援を担当する部署は今のままでいいの。結婚から子育てまでの支援については、トータルで考える必要があると思うがどうか。

答 国や県では、結婚及び子育て支援は一体的な取り組みをしているが、当町では所管が異なる状況であるため、一体的な支援について調査研究していく。

動画 視聴

動画でご覧いただけます

議会の様子の録画を下記から公開しています。
【YouTube チャンネル『茨城県阿見町議会』】
※ QRコードを読み込んで視聴できます。
※チャンネル登録をすると、動画が配信された時に通知が届くようにできるなど視聴しやすくなります。



議会 傍聴

手続きは簡単 ぜひ傍聴してみてください

議会の傍聴を希望される方は、会議の当日に役場3階議会事務局までお越しください。
①傍聴受付証の交付を受けてください
②傍聴受付証は先着順にお渡しします
③傍聴席数は次の通りです
本会議 30席・委員会 9席・全員協議会 7席



9人の議員 一般質問 町政を問う！

一般質問は、議員が町政全般に対して現状の確認や方針を問うものです。掲載している内容は、質問者の確認のもと要約し、議会だより編集委員会が校正したものを掲載しています。

QRコードからアクセスすると各議員の質問(録画動画)が視聴できます

武藤次男議員



公共交通に対する 取り組みについて

公共 交通



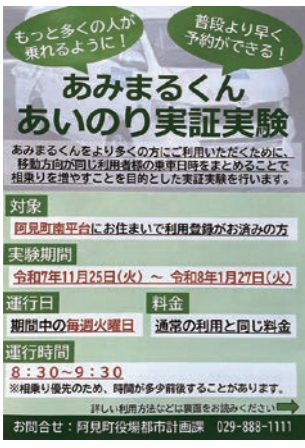
問 あみまるくん利用促進に対する実証実験について。

答 本年6月～8月に土曜運行実証実験を実施。12日間で計152名、平均1台当たり12.7名の利用実績あり。平日運行が平均15.3名なので平日と同程度のニーズありと認め令和8年度通年での土曜運行に向け協議する。また相乗り率向上の為に予約エリアを集約し、1週間前から予約可能という方法にて相乗り率向上の実証実験を11月末より2ヶ月実施し、集約結果を検証していく。

防犯カメラ設置 促進について

問 防犯カメラ設置の促進と計画について。

答 牛久警察署との協議により主要交差点28箇所内の20箇所設置済。主要交差点以外の箇所については地域予算要望により対応していく。個人向け防犯カメラ設置に対し



▲ あみまるくんあいのり実証実験

る助成について。

答 現在、県内12市町村で補助金制度を導入し、行政と地域住民の連携による防犯体制の強化を推進している。当町においても補助金制度の必要性について検討していく。

B型就労支援に 対する工賃について

問 当町B型就労支援工賃はどうか。

答 県平均19,882円だが当町16,948円で、県内7番目。今後、役場以外の町内企業にも発注を促進していく。

佐々木芳江議員



阿見町の空き家の 現状と対策について



問 阿見町の空き家の実態把握と実態調査はどうか。

答 令和6年度に職員による調査を実施し、364戸が空き家であることを確認している。今後、空き家の戸数や状態をより的確に把握することを目的に、専門業者による実態調査を実施する予定である。

問 「管理不全空家等」の規定が新設されたが、どのような空き家であるのか。

答 管理不全の程度が「特定空家等」の状態までには至らないが、長期間適正な管理が行われず、周辺に多大な影響を及ぼしている空き家が該当する。「管理不全空家等」に認定したうえで、状況が改善されない場合、指導、勧告等の行政指導を行うことが可能になる。

自主防災状況と 対策について

問 阿見町の地域防災マップの現状と今後について。

【その他の質問項目】
○ 阿見町の災害弱者への避難計画について





細田 正幸議員

文化センターの建設を 考えたらどうか



問 人口5万人を超え、令和9年11月に市制施行を予定するなら、当然1000人規模を収容できる文化センターが必要だと思う。土浦市・つくば市・牛久市・龍ヶ崎市は1000人規模を収容できる文化センターを持っている。阿見町でも過去に文化センター用地として買収し、現在も教育委員会生涯学習課が管理し、まい・あみ・まつり広場として利用している。阿見市として文化センターを建設したらどうか。

答 文化センターは文化芸術活動の拠点として町民の豊かな文化的生活に寄与する重要な施設であり、かつて計画が検討された際の理念が失われたものではない。しかし社会経済情勢の変化等を踏まえ、地区公民館やふれあいセンターの整備を進めることで地域ごとの文化・交流機能を充実させ、町民ニーズに添えてきた。このような取り組みにより、文化センターが想定



▲文化会館建設予定地（さわやかセンター隣り）

していた機能を概ね代替していると考えている。文化センターの建設は巨額の事業費を要し、阿見町第7次総合計画等に位置づけもなく、現時点で具体的な検討は行っていないが、継続的なイベント会場としての利用や茨城県ドクターヘリの緊急離着陸場所への登録、駐車場用地として大規模イベントや行事の際には行政財産使用許可に基づき利用を認めるなど、公共的な用途に供している。



紙井和美議員

子育て支援強化と(仮称)阿見町子育て 支援総合センターの機能充実を



問 地域全体の子育て支援ネットワークのハブとしての体制作りは。単なる支援拠点にとどまらず、相談、交流、学び、地域連携を一体的に進める総合センターとして地域全体の子育て支援ネットワークの中心となる体制を整えてまいりたい。

答 指定管理者の選定に当たり重視した点は。

答 選定基準は、利用者の平等性、多様な利用者への配慮、新サービス展開に向けた提案、十分な資格・経験等を有するスタッフの配置等の項目について特に重視していく。

問 産後ドゥーラの導入について。

答 子育て家庭の家事支援を行う子育て世帯訪問支援事業と併せて、令和8年度予算にあげられることを検討する。

問 小中学生の安全対策強化のための防犯カメラ設置等の施策について



▲産後ドゥーラの様子
(一般社団法人ドゥーラ協会より提供)

設置した箇所は。
答 町内の主要交差点に防犯カメラの設置を検討している箇所と交通安全プログラムの危険箇所が一致した場所に設置した事例がある。
問 通学路の中で防犯上危険な箇所に防犯カメラを設置する考えは。
答 保護者からの要望を踏まえて基準を整理し、今後は防犯の観点から設置の在り方の調査研究を進め、通学路の安全対策の一つとして検討する。



海野隆議員

物価高騰対策について



問 政府が推奨するプレミアム付き商品券及びおこめ券配布については、事務経費、スピードなどで課題が大きい。

答 プレミアム付き商品券は、物価高騰による家計負担の軽減と、町内消費喚起による商業振興という二つの効果が期待できる。一方で、その実施には多大な事務負担と経費がかかること、関係機関との協議等により実施までに期間を要するという課題がある。おこめ券配布については、県内の他自治体では「家で米を作っている」ので現金給付がよかった」などの意見がある一方、子育て世帯からは一定の評価を得ている。

問 物価高騰による生活への困難は、生活保護世帯、ひとり親世帯など、より低所得階層世帯で顕著に表れる。こうした低所得階層世帯への対策を打つことが喫緊で最も重要だ。現金給付で早期に支給すべきだ。



答 今回も国の推奨する事業を踏まえ、物価高騰の影響を受けている方に支援が届くよう検討していく。



小川秀和議員

窓口での多言語対応とユニバーサル デザインを考えた翻訳機の必要性



問 当町の外国人常住人口の推移は。令和7年11月現在で1572人。ここ5年間で約1.7倍に増えた。

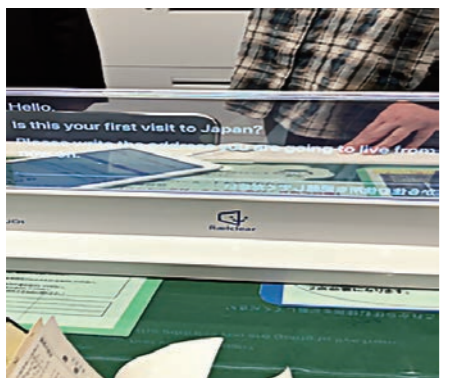
問 現在当町で来庁や在住の外国人住民の国籍は何カ国か。

答 登録は35か国だが、来庁される方については記録していない。おむね登録と同数と考える。

問 翻訳機を使用した場合の住民サービスと職員の負担軽減は。

答 住民にわかりやすく効果的に適切に伝わることで職員の負担も軽減できる。

問 現在使っている翻訳機の課題は。



▲翻訳機（資料提供：稲敷市）

答 翻訳はしているものの、相手の言葉の意味が分からないと正しく変換しているか判らない。専門用語等全ての翻訳はできない。

問 他自治体で画面に文字、音声対応のものが導入されたが把握は。

答 把握している。当町でも同等機器のデモを行った経緯がある。

問 画面での文字音声対応の翻訳機の費用対効果については。

答 使用頻度を予測しつつ、どの機械を選択するか見極める必要がある。

問 窓口の職員のご意見は。

答 外国人住民は急激に増えており、住民サービスに翻訳機は必須だ。機種選択もよりよい方向に進める。

国際交流事業の充実について

問 参加者への負担軽減への対策は。旅費を抑えるため日程を短縮したが、事業の縮減はしない。

問 今後の国際交流事業の展望は。

答 国際感覚に優れた子どもの育成の為、さらに国際交流を推進する。



栗原 宣行 議員

太陽光発電の設置規制と 農業者の保護について



問 太陽光発電の設置規制はどのようになっているか。
答 「阿見町太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例」で規制している。

問 住民や農業者からの苦情件数と対応はどのようになっているか。
答 平成25年度以降の苦情件数は27件で事前説明の不足や振動・騒音など多岐にわたっている。今後は条例に基づき適切に指導をする。

問 農業者を守るための監視体制と被害発生後の対応はどのようになっているか。
答 農業委員や農地利用最適化推進委員が月1回定期パトロールを実施し、監視をしている。

問 農業者の権利保護と営農継続支援策はどのようになっているか。
答 「農業委員会だより」で、農地転用の際の注意喚起を掲載し周知を図っている。また、ソーラーシェアリングに適した品目や営農方法などの情報提供を行っている。

観光振興やふるさと 納税事業は順調か

問 令和6年度の寄附額と寄附件数は、どのようになっているか。
答 寄附額は8847万円で寄附件数は4928件となっている。

問 返礼品の見直しの具体的提案はどのような内容か。
答 新規返礼品の開拓と既存品のブラッシュアップ、またプロモーションの強化と店舗型ふるさと納税の導入の提案を受け、取り組みを進めている。



▲ 阿見町ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)



栗田 敏昌 議員

千葉市政のこれまでの成果について

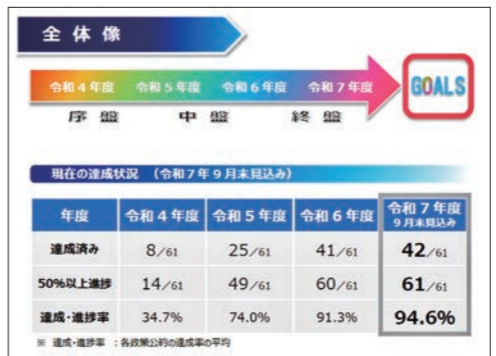


問 任期中、一貫して力を入れてきた事業の一つに子育て世代に対する支援とあるが、町長が就任してからこの8年間でどのくらい人口が増えたか。
答 平成30年4月1日時点で4万7442人だったが、令和7年11月1日時点で5万707人となっており、3265人の増となった。

問 やり残した事業の一つに「霞ヶ浦湖岸のりんりんロードにおける橋梁整備」があるが、完成までの見込みは。
答 町長自ら国土交通省や防衛省、茨城県への働きかけにより計画が進んできている。武器学校の保安問題も解決の目処があった。令和8年度に工事着手、順調に進めば令和10年度を目標に完成する予定。

問 これから町長選挙があるが、これまで取り組んできた政策の中で今後も継続して取り組むべき課題もあり、任期中の大きな目標でもあった「市制施行」に向かってこ

れからもチャレンジすべきと考えるが町長の気持ちはいかがか。
答 これまでの大きな公約は定年退職をした職員、現役の職員の力がなければできなかったと思う。また「実穀地区の大型開発の完了」「ゴミ処理施設の更新、広域化」「役場庁舎の建て替えの道筋」そして何より、ここまで頑張ってきた「市制施行」を滞りなく行うことが責任である。2月の町長選挙に出馬をし、継続して町長をやらせていただきたい。



▲ 政策実現プラン(令和7年9月末時点)

委員会活動

Until January 2026

各議員が専門的な委員会に分かれて、議案や請願・陳情などの審査、視察や研修を行う各常任委員会や特別委員会の活動をご報告します。

委員会の仕組みについては下記をご参照ください。
<https://www.town.ami.lg.jp/0000000990.html>



議員の仕事は会議だけじゃない!
現場も大事なんだ!

総務常任委員会

電子町内会推進事業および結婚推進支援事業についての視察を実施

令和7年 10月21日~22日 福島県 福島市・二本松市

総務常任委員会では、令和7年10月21日に福島県福島市を、翌22日に同二本松市を訪問し、今年度の活動計画に沿った視察研修を実施した。

福島市では、地域共創課より「電子町内会推進事業」について説明を受けた。同市では、コロナ禍における迅速な情報伝達の必要性や、加入率低下、役員の担い手不足といった課題を背景に、町内会の維持・活性化を図るため事業を開始した。現在は46町内会が参加しており、市からの通知・回覧文書を電子メール化することで紙配布を廃止している。また、市が管理する専用ウェブサイトが町内会が編集・投稿できる仕組みを導入し、活動の周知やアーカイブ化を実現しているほか、ICT活用を広めるための「電子町内会推進アドバイザー」の派遣も行っている。デジタル対応が困難な高齢者への対策などの課題はあるものの、役員の負担軽減や効率化、町内会活動の認知度向上に寄与していることが確認できた。阿見町においても行政区加入率の低下が懸念されており、デジタル化による効率化の事例は非常に参考となった。



福島市での研修の様子

二本松市では、子育て支援課より「結婚推進支援事業」について説明を受けた。同市は人口減少対策として「出会いと交流の促進」を掲げ、民間委託による婚活イベントの開催や、成婚謝礼金等を設けた「結婚お世話役事業」、県のAIマッチングシステム「はぴ福なび」への登録料助成を行っている。しかし、結婚に対する価値観の多様化や希望者の高齢化等により成婚実績が伸び悩んでいることから、今後は単なるマッチング支援にとどまらず、若者のライフプランニングを支援する「ライフデザイン事業」を実施し、結婚や育児へのポジティブな選択を促す方向へ転換することとなった。当町においても成婚率の向上や相談窓口の在り方が課題となっており、事業内容の見直しや方向性を検討する上で有益な知見が得られた。



二本松市での研修の様子

一連の視察で得た知見は、今後の委員会活動で活かしていきたい。

広聴広報特別委員会

放課後議員カフェ

令和7年10月4日 霞ヶ浦高等学校



阿見町議会では、開かれた議会を目指して様々な取り組みを行っている。今回、7月の町内3つの町立中学校（阿見中学校、朝日中学校、竹来中学校）に引き続き、霞ヶ浦高等学校にて「放課後議員カフェ」を開催した。

これは、生徒と交流することで、若い世代の声や価値観を把握し、議会活動に活かすことや、議員との対話を通じて生徒の社会参画への意識を高める機会とすることを目的としている。

今回の放課後議員カフェは、サブタイトルを「生徒と議員の気軽なトークタイム」としており、生徒と議員がグループごとにひとつのテーブルを囲む形で、参加者がリラックスして話をできるようにした。まずは自己紹介を兼ねたアイスブレイクを行い、互いの緊張をほぐしてから意見交換を行った。

議員の仕事内容に関する素朴な質問から、学校生活や阿見町について、同性婚やパートナーシップ制度、インターネット投票、空き家問題、太陽光パネル設置といった具体的な政策課題に至るまで幅広い議論が交わされた。この他にも生徒たちから様々な意見が出され、議員からも質問をする等、活発な意見交換が行われた。



意見交換の様子

阿見町議会モニター募集のお知らせ

議会モニターの目的

阿見町議会として、町民からの要望、提言、その他の意見を広く聴取し、議会改革・活性化の推進及び政策提案機能を強化することを目的に実施します。

議会モニターの活動

- (1) 会議の傍聴やYouTube 阿見町議会公式チャンネル内のコンテンツの視聴をしていただき、議会の運営に関するご意見をいただきます。
- (2) 「あみ議会だより」や「阿見町議会ホームページ」などに関するご意見をいただきます。
- (3) 議長が依頼する町議会の運営に関する調査事項に回答していただきます。
- (4) 町議会議員と1年に1回以上、意見交換を行っていただきます。
- (5) 議会に関する情報発信をしていただきます。
- (6) その他議長が必要と認めることにご協力いただきます。

応募資格

次のすべてに当てはまる方

- (1) 満18歳以上で、次に掲げるいずれかに該当する方。
 - ア 町内に居住する方
 - イ 町内に通勤又は通学している方
 - ウ 町内を事業又は活動の主たる拠点としている方

- (2) 現在及び過去に国、都道府県及び市区町村の職員や議会議員のいずれでもない方。
- (3) 町議会のしくみや運営に関心があること。
- (4) 町政及び地域社会の発展に関心があること。

募集人員

20人以内
※申込書の応募理由をもとに、選考させていただきます。
※選考にあたっては、年齢、性別、地域等のバランスを考慮させていただきます。
※選考の結果は、令和8年3月末までにご連絡いたします。

任期

令和8年4月1日から令和9年3月31日

応募期間

令和8年2月6日から令和8年3月6日まで(必着)

応募要領

阿見町議会ホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送またはメールのいずれかで応募してください。

その他

謝礼として年度末に5000円の図書カードを進呈します。

詳細についてはこちらから→



産業建設常任委員会

ふるさと納税・地域通貨「養老 Pay」についての視察を実施

令和7年 10月8日～9日 滋賀県野洲市 岐阜県養老町

産業建設常任委員会では、令和7年10月8日に滋賀県野洲市を、翌9日に岐阜県養老町を訪問し、今年度の活動計画に沿った視察研修を実施した。

野洲市では、地域経済振興課より「ふるさと納税」について説明を受けた。同市では、2020年までふるさと納税を返礼品なしで行っていたが、市長が交代した2021年から地元工場生産の化粧品ブランド「SK-II」を取り扱う返礼品ありのふるさと納税に変わったことで寄付額が跳ね上がり、令和6年度の寄付額は約14億円で、その寄付額のそのほとんどがSK-IIで占められているとのことであった。また、ふるさと納税に係る経費を削減する対策として、宣伝はしないが手数料が格安な寄付サイトを利用したり、中間業者についてプロポーザルを実施したりと、実質利用可能額を拡大できないか様々な試みをしていた。そして、現状のSK-IIで占められている現状に危機感をもって、同市のファンを増やすような体験型の返礼品の開発や、野洲市に寄付をしたいと思わせるような寄付の受入先の発掘をしていた。阿見町においても、ふるさと納税に係る経費を削減することや、一つの返礼品に依存せず、ファンを増やすような返礼品の開発事例は非常に参考となった。



野洲市役所



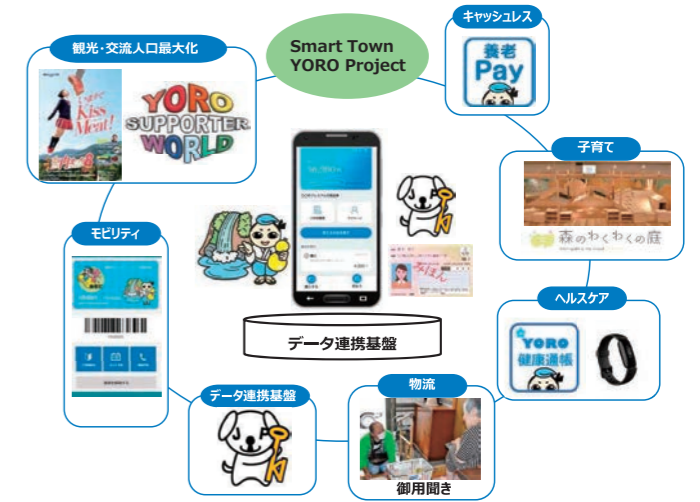
野洲市での研修の様子

養老町では、産業観光課より「地域通貨：養老 Pay」について説明を受けた。同町はコロナ禍により地域経済が少し落ち込む中、プレミアム商品券を発行するとなった際に、紙でのやり取りはコロナ禍において妥当なのかとの話から、商品券を電子化しようとのことで導入したのがきっかけで、その後は高齢者の見守り機能やオンデマンドバスとの連携、スタンプラリー機能、マイナンバーとの連携、同町独自の健康アプリ「YORO 健康通帳」との連携など、様々な機能を持ち合わせた総合アプリに進化させていったとのことであった。これらの取り組みの結果、地域経済への効果について、令和6年度は経済波及効果試算額1億6000万円とのことであった。課題としては、養老 Pay の利用料は養老町が負担しており、今後発生するランニングコストの負担が高額となっていることから、持続可能な事業に向けた仕組みづくりが必要とのことであった。

一連の視察で得た知見は、今後の委員会活動で活かしていきたい。



養老町での研修の様子



養老町：Smart Town YORO Project 概要

石川県宝達志水町長・町議会が来庁

令和7年10月29日 阿見町役場



石川県宝達志水町から町長と議員9名、事務局1名、執行部2名の合計13名が来庁され、議会改革について視察された。

当議会からは正副議長、議会運営委員会委員長が出席し、「阿見町議会災害対応規程」や「阿見町議会災害対応マニュアル」の策定までの経緯、議会改革アドバイザー、ペーパーレス化への経緯等について紹介した。

その後の質疑応答では、宝達志水町との比較を踏まえた質問や、タブレット端末や本会議の配信に関する質問等をいただいた。それらに対する回答を通じ議会運営についての意見交換が行われ、充実した研修となった。

特産品

イチジク



視察時の様子

議員研修会『障がい者をめぐる現状と課題』

令和7年11月4日 阿見町役場



百瀬英一氏（一般社団法人比較医学研究所代表）から講演をいただいた。「障がい者をめぐる現状と課題」をテーマに、障がいを持ちながらも活躍する方の実例紹介など、約1時間半にわたって講演をいただいた。講演後は議員からの質疑に百瀬氏の経験を交えながら応答いただくなど、有意義な研修となった。



研修時の様子

長野県小布施町議会が来庁

令和7年11月5日 阿見町役場



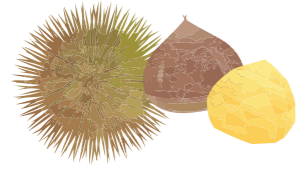
長野県小布施町から議員12名、事務局1名、執行部1名の合計14名が来庁され、議会改革等について視察された。

当議会からは正副議長、予算決算特別委員会正副委員長が出席し、議会事務事業評価に関する提言書、議会改革について紹介した。

その後の質疑応答では、予算決算特別委員会の構成について、町民の声を吸い上げる仕組みについて、タブレット端末の利用について等、幅広く質問をいただいた。それらに対する回答を通じ議会運営や地域力についての意見交換が行われ、充実した研修となった。

特産品

栗



視察時の様子



進・議・帯 議会活動

進め議会！
連帯・連携！

Until January
2026

議会が一丸となって二元代表制の一翼を担うべく、町政運営の調査・監視及び評価を行い、政策の立案・提言を行っています。議会改革が進み、マニフェスト大賞での優秀躍進賞の受賞など成果が出てきたことから、議会改革の視察受け入れが増えています。

議員研修会 『議員のためのハラスメント防止研修』

令和7年10月14日 阿見町役場



動画の視聴による「議員のハラスメント防止研修」を実施した。令和6年2月に制定された阿見町ハラスメント防止条例では、「議長は、ハラスメントの防止を図るため、議員に対し必要な研修等を実施しなければならない」と謳われている。

動画は、全国の地方議会議員のコンプライアンスの向上に資するため、全国町村議会議長会により作成されたもの（講師：吉田博氏（札幌学院大学非常勤講師））。

研修には全議員が出席し、どんな行為がパワハラ、セクハラに該当するか等、約75分間の動画を真剣な眼差しで視聴していた。



研修時の様子

議員研修会『子どもをめぐる現状と課題』

令和7年10月28日 阿見町役場



横須賀聡子氏（特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城理事長）から講演をいただいた。「子どもをめぐる現状と課題」をテーマに、横須賀氏の経験談を交えながら約1時間半の講演をいただいた。講演後は活発な質疑が行われるなど、有意義な研修となった。



研修時の様子

議会報告会

令和7年11月9日 阿見町役場 議場・議場前ロビー・各議会施設



阿見町議会では、阿見町議会基本条例に基づき、開かれた議会を目指して議会報告会を開催している。これまで11回にわたり実施してきたが、第12回目となる令和7年度の議会報告会では、親しみやすく「あみ議会報告会&交流会'25 知ろう、語ろう、進めよう!! みんなであみトーク」と題し、普段は立ち入ることのできない議場で開催した。

今回の参加者は、一般参加者23名、議会・事務局関係者20名の合計43名だった。年代は20代から80代以上と幅広い層の方々にご参加いただいた。



集合写真

■ 議会報告会第1部 ~概要説明・自己紹介・活動報告~ ■



第1部の様子

内容は3部構成で進行した。第1部では議場にて議会の概要説明、議員の自己紹介、各常任委員会からの活動報告を実施。続く第2部は、初開催となる「議会ツアー」を実施し、正副議長室や議員控室、委員会室等の紹介を行った。参加者は4グループに分かれ、先導する案内役議員とともに、各部屋の紹介を担当する説明役議員から詳細な説明を受けた。第3部では、会場を議場前ロビーに移し、参加者を6つのグループに分け、町や議員、議会に関するさまざまなテーマでフリートークを実施した。

■ 議会報告会第2部 ~議会ツアー~ ■

議会ツアーでは、グループごとに庁舎3階及び4階の議会施設の見学を行った。議場、傍聴席、全員協議会室、第1委員会室、第2委員会室、第3委員会室、正副議長室、議員控室、議会事務局、図書コーナーをめぐり、議員からの説明を行った。普段は立ち入ることができない議会施設の見学について、参加者からは『町民であっても、普段見ることができない所を見学でき、満足した』と感想をいただいた。



議会ツアーの様子（全員協議会室）



議会ツアーの様子（正副議長室）



議会ツアーの様子（図書コーナー）



議会ツアーの様子（議員控室）

県南町村議会議員大会

令和7年11月7日 利根町文化センター

県南地区の町村議員の情報交換と資質の向上及び研さんを目的として、利根町文化センターで令和7年度県南町村議会議員大会を開催した。

構成自治体である阿見町・美浦村・河内町・利根町の町村長と国会議員・県議会議員が来賓としてご臨席いただく中、新たな時代における町村議会のあるべき姿を求めて果敢に行動していくことを誓う大会宣言が行われるとともに、高齢者福祉、障がい者福祉施策の強化を期することなど全15項目の決議が採択された。

続いて、大手IT企業や農業法人、農林水産省、慶応義塾大学SFC研究所研究員といった官・民・学の経験を活かして活躍されている渡邊智之氏を講師に、「食と農の未来を切り拓く農業DX～農業をデジタル技術でかっこよく稼げて感動があるものに～」をテーマとした講演会を開催した。

農家とITをつなげ、機械やデータといったデジタル技術の活用を行う農業DXの重要性についてお話をいただいた。

農業とデジタル技術に関する具体的な資料と、おだやかで分かりやすいお話による講演は、参加者の理解を大いに深めるもので、大会宣言の実現に向けた機運を高めることとなった。



講演の様子



参加議員と町長・講師との集合写真

学校給食試食会

令和7年12月4日 議員控室

議会では年に一度、学校給食試食会を実施している。学校給食センターでは、管理栄養士が児童、生徒のすこやかな成長のため、安全面や栄養バランスを考慮して作成した献立に基づいて、小学校7校、中学校3校、保育所3か所の給食を、1日に約4500食、2献立制で調理して、小中学校及び保育所に配送している。

児童、生徒からの地場産物を使用した給食レシピの募集や、「リクエスト献立」や「行事献立」、「日本・世界食べ物紀行」など様々な献立を取り入れ、児童、生徒が給食を楽しめるように工夫している。

【本日の献立】



ごはん、牛乳、ハンバーグデミグラスソース、ごぼうとコーンのサラダ、鶏肉と野菜のスープ



取り分ける様子



食事の様子

■ 議会報告会第3部 ～6グループに分かれてのフリートーク～ ■

各グループに議員を3人ずつ配置し、参加者とのフリートークを行った。将来の町のこと、市制施行のこと、学校や子育てに関することなど、様々な意見が交わされた。



参加者からは、『普段知る事のない情報をたくさん知ることができた』『距離感が近いので質問しやすかった』『はじめて入る場所がたくさんあっておもしろかった』など、好意的な意見が寄せられた。また、『議員の方とゆっくり話す時間があった』『直接話し合えたのが良かった』と、町民の声に耳を傾けるという目的も達成できた。改善案もいただいたため、今後検討し、次回の議会報告会に活かしていきたい。

■ 神奈川県箱根町議会が来庁

令和7年12月18日 阿見町役場

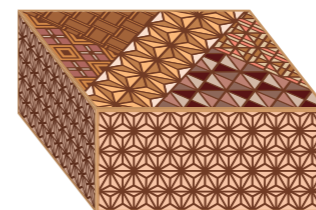


神奈川県箱根町議会の会派である至誠会から議員6名が来庁され、議会改革アドバイザー制度とデマンドタクシーについて視察された。

当議会からは正副議長、執行部からは3名が出席し、議会改革アドバイザー制度やオンライン委員会、デマンドタクシーあみまるくんについて紹介した。

その後の質疑応答では、議会改革アドバイザーの委嘱内容や議会モニター、議会だよりについて、また、デマンドタクシーあみまるくんの運用内容や運用までの経緯等、具体的な質問をいただいた。それらに対する回答を通じ議会運営や広報、公共交通についての意見交換が行われ、意義深い研修となった。

特産品
寄木細工



視察時の様子

議会日誌



10月	12月
10日 龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会	2日 第4回定例会本会議
16日 牛久市・阿見町斎場組合全員協議会	3日 第4回定例会本会議（一般質問）
16日 牛久市・阿見町斎場組合第2回定例会	4日 第4回定例会本会議（一般質問）
17日 広聴広報特別委員会	5日 第4回定例会本会議（一般質問）
20日 議会だより編集委員会	8日 総務常任委員会
20日 龍ヶ崎地方衛生組合第2回定例会	8日 民生教育常任委員会
21日 総務常任委員会所管事務調査（福島県福島市）	9日 産業建設常任委員会
22日 総務常任委員会所管事務調査（福島県二本松市）	16日 広聴広報特別委員会
24日 稲敷地方広域市町村圏事務組合全員協議会	16日 第4回定例会本会議
27日 民生教育常任委員会	16日 全員協議会
28日 広聴広報特別委員会	16日 予算決算特別委員会
28日 阿見町議会議員研修会	18日 神奈川県箱根町行政視察受入
29日 石川県宝達志水町行政視察受入	
11月	1月
4日 全員協議会	13日 全員協議会
4日 阿見町議会議員研修会	13日 予算決算特別委員会
5日 長野県小布施町議会視察受入	13日 議会だより編集委員会
5～7日 龍ヶ崎地方衛生組合議会先進地視察研修	19日 議会だより編集委員会
7日 県南町村議会議員大会	
9日 議会報告会	
10日 稲敷地方広域市町村圏事務組合定例会	
13日 広聴広報特別委員会	
25日 議会運営委員会	
25日 全員協議会	
25日 産業建設常任委員会	



まちびと インタビュー



今回は霞ヶ浦高等学校を訪れ、生徒と議員が意見交換を行う「放課後議員カフェ」に参加した生徒たちにインタビューしました。

※回答は、複数の生徒へのアンケートから抜粋して構成しています。

Q 「放課後議員カフェ」に参加した感想は？

A とても楽しかったです。最初は緊張しましたが、意外とフレンドリーに話してくれたので、自分の意見が言いやすかったです。普段は議員の方と話す機会がないので、地域の現状について深く知ることができて新鮮でした。柔らかい雰囲気でお話を楽しむことができ、今まで持っていたイメージがガラッと変わりました。

Q 議員のイメージは変わりましたか？

A 以前は「堅苦しい」「遠い存在」だと思っていましたが、意外と自分たちの身近にいる人だと感じました。私たちの提案や話を親身になって聞いてくださり、共感してくれたのが嬉しかったです。また、議員のお仕事以外にも兼業ができることや、プライベートな趣味の話、運動会でのエピソードなども聞くことができ、ただの「議員」ではなく、一人の人間として馴染みやすい印象になりました。

Q まちづくりへの関心は高まりましたか？

A はい、高まりました。自分の住んでいる地域や国の将来について、希望が持てました。「もっと住みやすい町にするにはどうすればいいか」を議員の方々が真剣に考え、町民の声に耳を傾けて動いていることが分かりました。今回の話し合い

を通じて、自分も将来、町政に関わる機会があれば参加してみたいと思うようになりました。

Q 最後に一言お願いします。

A 人と話すことの楽しさを改めて感じました。考えて伝えて、理解することが、何かが変わり始める第一歩だと思います。議員さんは「暇なのか」なんて思っていたこともありましたが（笑）、実際は多忙で、町民のために実現しようと努力されている姿を知り、尊敬しました。とても貴重な経験だったので、ぜひまた定期的に開催してほしいです！



参加された霞ヶ浦高等学校の生徒会の皆さま、ありがとうございました。

編集後記

立春を迎え、寒さの中にも春の息吹を感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。現在、阿見町は人口5万人を超え、市制施行を見据えた新しい時代への変化の真っただ中にあります。この活気を紙面でもお伝えすべく、各委員の柔軟な視点を取り入れ、「手にとりたくなる広報紙づくり」に委員一丸となって真剣に向き合っております。議会だよりは、皆様と議会をつなぐ大切な架け橋です。読んで終わりではなく、ここから生まれる皆様との対話を、町政の発展へとつなげていく所存です。三寒四温の折、皆様の毎日が春の陽気のように温かく、笑顔あふれるものとなりますようお祈り申し上げます！

笥田 聡

議会だより 編集委員会

【委員長】
石 引 大 介
【副委員長】
栗 田 敏 昌
【委員】
落 合 剛
武 藤 次
武 井 男
寛 井 浩
 田 聡

次回定例会

3月3日(火)

本会議、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、全員協議会は傍聴できます。

本会議は役場1階ロビーのテレビでもご覧いただけます。